

精神保健福祉士による相談の推進

- ・性に関する健全な意識をかん養し正しい理解の普及を図るため、価値観を共有する同世代の仲間による相談・教育活動（「ピア・カウンセリング」と「ピア・エデュケーション」）の普及促進
- ・障害のある子供に関しては、平成24（2012）年4月に創設した**障害児相談支援**を平成27（2015）年4月から障害児通所支援を利用する原則すべての保護者に実施
- ・様々な子供の心の問題や、被虐待児の心のケア、発達障害に対応するため、都道府県における拠点病院を中核とし、各医療機関や保健福祉機関と連携した支援体制の構築を図る「**子どもの心の診療ネットワーク事業**」の実施

第4節 若者の職業的自立，就労等支援

1 就業能力・意欲の習得

(1) 勤労観・職業観と職業的自立に必要な能力の形成

ア キャリア教育・職業教育の推進（文部科学省，厚生労働省，経済産業省）

現在の若者が直面する困難として、非正規雇用率の高さや雇用のミスマッチ、若年無業者の存在など「学校から社会・職業への移行」が円滑に行われていないことが挙げられる。また、職業意識・職業観が未熟なこと、進路意識・目的意識が希薄なまま進学する者の増加など、若者の「社会的・職業的自立」に向けた課題がみられる。これらの原因・背景には、産業構造や就業構造の変化など社会全体を通じた構造的問題が存在しており、社会が一体となった対応が必要である。このような中で、学校教育においては、キャリア教育・職業教育を充実していくことが重要である⁵⁷。

文部科学省，厚生労働省，経済産業省の3省は、学校、地域、産業界が一体となって社会全体でキャリア教育を推進していこうという気運を高めるため、「**キャリア教育推進連携シンポジウム**」を実施している⁵⁸。平成26（2014）年度は、「社会が求める資質・能力」をテーマに、学校関係者・企業関係者による基調講演，パネルディスカッション，事例発表を行った（**第2-2-20図**）。

文部科学省と経済産業省は、学校関係者や地域社会、産業界といった関係者の連携・協働による取組を表彰する「**キャリア教育推進連携表彰**」を実施している。平成26年度は、応募のあった39件の中から、最優秀賞1件，優秀賞3件，審査委員会特別賞1件を選定した（**第2-2-21図**）。

文部科学省は、上記のほか、以下の取組を行っている⁵⁹。

- ・企業による出前授業などの教育活動支援，職場体験
- ・インターンシップ受入先の開拓やマッチングなど，地域における学校のキャリア教育

第2-2-20図 キャリア教育推進連携シンポジウム



（出典）文部科学省，経済産業省及び厚生労働省資料

57 平成23（2011）年1月の中央教育審議会の答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」でこのような指摘がなされている。この答申では、①幼児期の教育から高等教育に至るまでの体系的なキャリア教育の推進，②実践的な職業教育の重視と職業教育の意義の再評価，③生涯学習の観点に立ったキャリア形成支援（生涯学習機会の充実，中途退学者などの支援）という3つの基本的方向性に沿った具体的な方策が提言されている。

58 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1342369.htm

59 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm

を支援する組織の整備の促進（地域キャリア教育支援協議会設置促進事業）⁶⁰。平成25（2013）年度は9地域を採択。

- ・高校普通科におけるキャリア教育の実践に関する調査研究⁶¹
- ・高校におけるインターンシップコーディネーター配置事業
- ・全国各地で高校の教員にキャリア教育の意義や重要性について理解を深めてもらうための「キャリア教育推進アシストキャラバン」の実施
- ・キャリア教育の趣旨の周知と指導内容の充実を図るため、小学校・中学校・高校において、学校の特色を生かしたキャリア教育の年間指導計画を作成する際に参考となるパンフレットを作成・配布し、文部科学省ホームページにも掲載⁶²
- ・学校や教育委員会におけるキャリア教育に関する研修のための動画コンテンツと資料を文部科学省ホームページで配信⁶³
- ・学校が望む支援と地域・社会や産業界などが提供できる支援をマッチングさせる特設サイト「子どもと社会の架け橋となるポータルサイト」⁶⁴の運用（第2-2-22図）

また、社会の変化や産業の動向などに対応した高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組を行う専門高校を「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」として指定し、調査研究を全国10校で行っており、平成27（2015）年度には、指定校を20校に増加し、さらに取組を充実する。

厚生労働省は、企業で働く者などを講師として中学校や高校に派遣し、職業や産業の実態、働くことの意義、職業生活を子供に理解させ、考えさせる「キャリア探索プログラム」を実施している。平成25年度には、4,028校において、約31.8万人の生徒が参加した。また、キャリア教育の企画・運用を担う人材を養成するための講習を行う「キャリア教育専門人材養成事業」を実施している。平成26年度は、大学のキャリア教育に携わる者を主な対象として講習を実施した。

経済産業省は、先進的な教育支援活動を行っている企業・団体を表彰する「キャリア教育アワード」を実施している⁶⁵。平成26年度から、専門的な知識・経験に基づいたキャリア教育プログラムやマッチングサービスなどを提供するコーディネーター機関を表彰するコーディネーターの部を新設し、

第2-2-21図 第4回キャリア教育推進連携表彰

最優秀賞	
団体名	川口若手ものづくり人材育成プロジェクト
取組内容（概要）	川口市は、埼玉県で最も中小製造業者が多く、多種多業種が集積した都市であり、大田区や墨田区そして東大阪市などと並び、ものづくり産業の底辺を支えている。平成19年度から市内関係機関が連携し、地域全体を学び場として産業資源を教育に生かし、「地学地就」を目的に産業人材育成に取り組んでいる。工業高校生のキャリア教育を中心に、小中学生とその保護者への啓発を促す事業も実施している。具体的には、工業高校生のインターンシップや企業の高技術者による実践的な授業、教員の企業研修や実技研修、小中学生とその保護者の工作体験と工場見学を行なう「親子でのものづくり体験ツアー」などを開催し、将来の人材育成に努めている。
優秀賞	
団体名	京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク運営推進委員会
取組内容（概要）	京都市スチューデントシティ・ファイナンスパークは、市立小・中学生が、施設内に再現した「街」で職業体験や生活設計体験を行い、社会の働きや経済の仕組み等を学ぶもので、京都市「生き方探究教育」の重要な柱となっている。本委員会は、学習プログラム等に対する指導助言や検証を行い、学習の改善・発展に大きく寄与している。
団体名	特定非営利活動法人ひょうご知的障害者自立就業支援ネット協生
取組内容（概要）	NPO法人ひょうご知的障害者自立就業支援ネット協生は平成20年3月に設立され、障害者の社会参加促進や就労機会拡大に向け、近隣の飲食店等での現場実習を受け入れ、指導・訓練を行うとともに、事業所での雇用、他企業への紹介等に取り組んでいる。
団体名	グジョブおきなわ推進事務局
取組内容（概要）	「沖縄県では、県民運動「みんなでグジョブ運動」を推進し、県内10市町村において、各地域の特色を生かした産学官・地域が連携する仕組みを作り、小・中学生が中心に観察型キャリア教育「沖縄型ジョブシャドウイング」等に取り組んでいる。」
審査委員会特別賞	
団体名	石巻「まるっこ」高連携応援団
取組内容（概要）	東日本大震災で被災した石巻地域の課題解決に向け、産業人材育成のため、専門高校5校（農・商・工・水産）と行政、地元企業、NPOが連携し、地域課題解決型キャリア教育に取り組んでいる。

（出典）文部科学省、経済産業省資料

第2-2-22図 子どもと社会の架け橋となるポータルサイト



（出典）文部科学省ホームページ（http://kakehashi.mext.go.jp/）

60 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1339053.htm
 61 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1338650.htm
 62 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1312372.htm
 63 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1315412.htm
 64 <http://kakehashi.mext.go.jp/>
 65 <http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/career-education/index.html>

